## 合格祈願の絵馬を多久聖廟に奉納

受験生たちが合格を祈願する絵馬の奉納式が学問の神 様である孔子を祀る多久聖廟で行われました。

奉納された絵馬は、多久聖廟前の絵馬棚に飾られた木 絵馬や多久市観光協会がJR多久駅とJR唐津駅に設置し た巨大絵馬に投函された紙絵馬などで約500枚。厳かな 雰囲気のなか、中国・明時代の礼服を着た祭官が多久聖 廟の伝統行事「釈菜」の様式にならって、孔子像前に奉 納しました。

奉納式は、国立大学二次試験に合わせて2月23日(水・ 祝) に行われたほか、県立高校入試に合わせて3月6日 (日)にも行われる予定です。



## 郷土資料館で世界唯一『繪像水滸傳』の完本を展示中!



▲展示されている遺香堂本版「繪像水滸傳」

多久市郷土資料館で企画展「百八星の物語 遺香堂水滸傳」 を開催しています。『水滸伝』とは明代の中国で話し言葉により 書かれた長編小説で、108人の好漢が社会の理不尽と戦いなが ら朝廷への忠義を掲げ大活躍する物語です。郷土資料館所蔵の 清代初期に刊行されたと考えられている『繪像水滸傳』は遺香 堂という出版元から出版された百回本。百話そろっているのは 世界で同館だけです。この貴重な本を挿絵とともに物語の解説 付きで展示しています。

同館の志佐喜栄学芸員は「『繪像水滸傳』は東原庠舎で中国 語のテキストとして使われていたと考えられています。過去を 感じながら大活劇『水滸伝』の世界を楽しんでいただきたいで す。また、3月13日(日)からは原本を展示しますのでぜひお越し ください」と来館を呼びかけています。

## 孔子の直系子孫 孔徳懋女史を偲ぶ

昨年11月に中国北京市で永眠された、儒学の祖孔子の 第77代直系子孫である孔德懋女史(享年105)を偲ぶ会(主 催:多久市日中友好協会、公益財団法人孔子の里)が東 原庠舎で行われました。「恕(=人への思いやり)」の大 切さを説かれた孔徳懋女史とは、互いに訪問しあうなど、 市民レベルで交流を深めていました。

偲ぶ会には関係者ら約20人が参加。横尾俊彦市長は「孔 子が説かれた恕の心を我々が実践することが何よりの供 養になるはず」と偲び、また協会の創設時から活動に携 わり、孔德懋女史と「姉」「妹」と呼び合うなど親交の 深かった尾形節子さんは「お会いするうちに心が通じ合 い、姉のように慕っていました。気品があり、寛大で優 しさにあふれた人でした」と別れを惜しみました。



▲孔徳懋女史との思い出を語り合う参加者